

報告書の記載例

② 造林方法が天然更新の場合

様式第5号（第6条関係）

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和4年6月31日

那珂市長 様

【報告者（森林所有者等伐採後の造林に係る権限を有する者）】

住所
氏名
連絡先

造林期間の末日から30日以内であり適正。

平成29年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

那珂市 大字〇〇 字△△ 地番1234番1、1234番2

複数地番にまたがる場合は、該当するすべての地番を記載する。

2 伐採の実施状況

伐採面積	3.30ha	全ての地番の合計面積を記載する。			
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%		
伐採樹種	クヌギ、その他広葉樹				
伐採の期間	平成29年11月10日～平成29年12月20日				

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	—	—	—	—	—
天然更新	ぼう芽更新、天然下種更新	平成29年12月21日～令和4年6月18日	クヌギ	2.20ha	7,000本
			その他広葉樹	1.10ha	別添のとおり

4 備考

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されているか？

注意事項

- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。